

平成31年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州担い手就農移住促進事業
事業主体 (連絡先)	南信州・担い手就農プロデュース 0265-52-6644
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	957,600円(うち支援金:766,000円)

事業内容

●南信州の知名度向上、南信州農業への誘致・勧誘につながるフェア・相談会を開催した。

①まるごと南信州フェア in 名古屋

日時:令和1年12月21日(土)10:00~16:00
場所:名古屋市中小企業振興会館
内容:南信州地域のPR、南信州での就農・移住に対する相談会、南信州産農産物紹介
来場者数:4組5名



12/21 名古屋でのフェア

②まるごと南信州フェア in 新宿

日時:令和2年2月4日~2月8日11:00~18:00
場所:JA東京アグリパーク
内容:南信州地域のPR、南信州での就農・移住に関する座談会、南信州産農畜産物PR販売
来場者数:5194人(内、就農移住座談会7組8名)



2/4~2/8 新宿でのフェア

③南信州管内就農・就業相談会

日時:令和元年8月25日(日)10:00~16:00
場所:JAみなみ信州本所みなみちゃんホール
内容:地元の後継者及び新規就農希望者を発掘し、就農・農業法人への就職等に向けた相談会
参加者:7組9名



8/25 南信州での相談会

●南信州への移住・就農に興味のある方を対象とした現地訪問会を年3回実施した。

① 日時:令和元年7月6日(土)9:00~17:00

内容:夏の南信州の案内。農家訪問、当地域農業の講義、市町村職員との交流など
参加者:13名

② 日時:令和元年9月21日(土)9:00~17:00

内容:初秋の南信州の案内。農家訪問、当地域農業の講義、市町村職員との交流など
参加者:19人

③ 日時:令和元年12月7日(土)9:00~17:00

内容:冬の南信州の案内。農家訪問、当地域農業の講義、市町村職員との交流など
参加者:17人



9/21 現地訪問会

●就農&移住総合ガイドブックの作成

●農業求人サイト「あぐりナビ」活用による、南信州PR事業

事業効果

就農・移住フェアは名古屋1回、東京1回、地元で1回実施した。その他民間が実施する農業人フェアや長野県が実施する相談会にも出展し、来年度「南信州担い手就農研修制度」への応募者5名を採用する運びとなった。この研修制度は市町村が地域おこし協力隊として採用する者をJAが研修生として受け入れるもので、当プロデューズが市町村・JA・地域振興局・広域連合と連携し南信州での就農や移住を誘致したことの成果が発揮された1年であった。

特に移住事業との協働が進んだことが、就農と移住それぞれに成果を表したと察する。

また、このJA担い手就農研修制度以外にも、松川町や阿智村が町村独自の研修制度を構築され、研修生の確保にも至っている。農業法人への就職希望者との面談対応、人材を必要とする農業法人へのパイプ役としても機能を発揮し、根羽村では研修採用に至る農業法人ができた。

トータルでは12名が今年度南信州に移住し、内農業研修生は9名となった。

今後の取り組み

引き続き、市町村・県・広域連合との連携を強化し、まずは「南信州」という地域全体のPR活動を積極的に行う。その中に「就農」「移住」については「農住」と言う表現に変更して、表裏一体化を一層強化して、相談者目線によるポイントを絞った相談対応を進めて、地域農業の担い手不足解消及び第3者承継含めて、移住定住事業にも寄与する。

さらに次年度は、南信州14市町村の全てが当プロデューズに参画すること、農業法人との協働連携を進め、内外に示すことのできるモデル化を図りたい。

【目標・ねらい】

- ① 南信州の知名度向上
- ② 地域農業の維持へ向けた誘致
勧誘
- ③ 新規就農者・農業担い手候補者
の確保と移住定住事業の協働
- ④ 地域農産物の紹介PR
- ⑤ ネットサイト活用による周知

※自己評価【 A 】

【理由】

就農と移住の「農住」は、農産物紹介の三つ巴によるアピールが農業の担い手研修候補者及び相談継続につながったことの成果は大きく、特に行政とJAなどとの情報共有がなされたことが効果として表れ、研修制度に対する行政及び農業法人等の理解が進んだことによる。